

あさがや



11・12月

阿佐谷地域区民センター 〒166-0004 杉並区阿佐谷南 1-47-17 TEL: 03-3314-7215
梅里区民集会所 〒166-0011 杉並区梅里 2-34-20 TEL: 03-3317-3310

題字：橋 右女次

阿佐谷地域区民センター協議会
編集：広報部 9,000部



お知らせ

新型コロナウイルスの感染状況によっては、当広報誌掲載のイベント、講座等が中止または延期になる場合があります。最新情報は必ず当ホームページでご確認ください。

阿佐谷地域区民センター協議会 ホームページ
<https://www.asagaya-kyogikai.org/>

阿佐谷協議会

検索

講座やイベントの最新情報をどうぞ！

※一部の機種によっては対応していない場合があります



阿佐谷地域周辺の商店街の生き立ち [その4]

2回にわたって
松山通り商店街を
とりあげます

前回までは3回にわたりパールセンター商店街の
お話しをしました。さて、今回からは
JR阿佐ヶ谷駅から北へ伸びる松山通りへ目を向けてみます。

● 阿佐谷の歴史と松山通り（旧中杉通り）

阿佐谷は南北朝期の文書に「あさがやとの」と記載があり、土豪・阿佐ヶ谷氏の拠点として「名前」が歴史に現れます。松山通りはふるくは鎌倉街道のひとつと想定され、元々の中杉通りとして現在のパールセンター商店街とつながるひとつの通りとしてエリアの基幹道とみなせます。

その後近世、江戸時代には現在の目白通り（貫井）にある「子の権現」寺への参道（子の権現道といわれた）として栄えていました。

現在の甲州街道方面からずっとつながっていた訳です。



昭和46年の旧中杉通り
(加藤嶺夫『東京 消えた街角』(河出書房新社)より転載)

また、阿佐谷の地名は現在は暗渠道となって松山通りと交差している桃園川などがその典型であります。浅い谷地形に由来すると言う説があります(みなさまも道々でそんな地形は感じられますよね)。今の松山通りの名前は昔、松があったための様ですが、現在の街(特に住宅地など)の形成は、関東大震災時に東京市(今で言う東京都の下町方面など)からの避難民等の移住によります(1921年〈大正10年〉青梅街道の路面電車開通～荻窪まで、1922年阿佐ヶ谷駅開設、1923年関東大震災)。



現在の松山通り

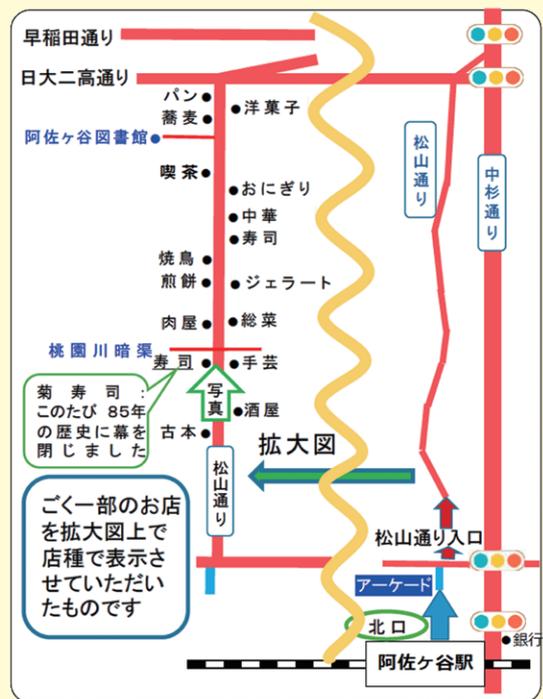
同時期頃から形成され、現在よく言われる「阿佐ヶ谷文士村」の一面で、「阿佐ヶ谷文士村」の名付け親である「阿佐ヶ谷図書館」は松山通りから少し入ったところにあります。

● 松山通り商店街

さて松山通り沿いの商店街に目を向けてみましょう。JR阿佐ヶ谷駅北口からアーケードを抜けた北方面の道からが松山通り商店街で、信号のないのんびり道がユルユルと早稲田通りの手前の日大二高通りへ出るところまで続きます。パールセンター商店街と大きく違って、お店の密集度は低い反面、チェーン店が少ない地元の個人商店がほとんどであることが大きな特徴といえます。

この記事の取材でも判ったことですが、代々のお店と思い入れのある新しい店ばかりで、よく言えば、店主の個性がこの商店街の核で、それぞれのお店が頑張つて元気さをつないでいる感じがします。お店のレパートリーもよく見ると(…間口の狭いお店も結構多くて、丁寧に見て行くと判ります)、飲食に始まり基本生活は十分なお店の種類が揃い、賄え、楽しく暮らせる充実ぶりです。

より具体的なご紹介などへ進めたいのですが紙面が足りません。次回はあの阿佐ヶ谷姉妹ゆかりのエリア?をもう少し深掘りしてお話しを続けさせてください。



松山通り商店街地図

阿佐ヶ谷オカリナサークル ココリーコ



会の成り立ち

阿佐ヶ谷オカリナサークル ココリーコは、阿佐谷地域区民センターの講座受講生が立ち上げ、2021年に創立23周年を迎えました。サークル名称「ココリーコ」は、鶏の鳴き声「コケッコー」由来の雄鶏の意味（イタリア・フランス語とも：cocorico）。現在、めんどりさん14名。レパートリーは、唱歌からジブリナンバー、バッハやベートーベンまで何でも挑戦。残念ながら、お笑いはありません。

「オカリナ」は、イタリア語の“ocarina”で、意味は小さなガチョウ。音域1オクターブ半の陶器の笛なので、C・F・G調のソプラノ、アルトとバスCそれぞれの笛で広い音域をカバー。

プロの演奏では、重さ1kg超えの巨大コントラバスも使われます。オカリナの原型は古代文明の地にも存在したようですが、19世紀後半のイタリアでドレミファの西洋音階のものが作られ、現在の形に。オカリナは今でも進化中で、音域が3オクターブ+1音のトリプルオカリナも出現しています。

ココリーコでは、月2回のレッスンと区内のシルバー施設などのお誘いで演奏を続けてきました。毎年阿佐谷区民センターまつりにも演奏の機会をいただいております。毎年ご来館のおなじみさん、新しいお客様、いつも暖かい拍手で盛り上げてくださり、嬉しい、楽しい舞台です。

また、年間目標の1つとして毎年参加の発表会は、40組近くのグループが出演します。大きなコンサートホールでの演奏に備えて合宿も実施。コニファーいわびつ、富士学園、長野県のお寺でも長時間の練習もがんばってきました。

当サークルは2018年の創立20周年を内々のメモリアルコンサートで祝いました。メンバーは仲良く共に年を重ねてきましたが、まだまだ、これからもオカリナアンサンブルを楽しんでいきたい大事な仲間たちです。メンバー募集中です。お問い合わせください。

■ 問い合わせ先 阿佐ヶ谷オカリナサークル ココリーコ 苗村
e-Mail : oca.cocorico.nae@gmail.com



▲ 20周年記念ミニコンサートプログラム



▲ 松伏せ町田園ホール エローナにて“StandALone”



▲ オカリナ バスCからソプラノCまで

渋沢栄一のふるさとと阿佐谷

NHK大河ドラマ『青天を衝け』は本年12月26日が最終回となります。そこで描かれた渋沢栄一のふるさと（現・埼玉県深谷市血洗島）と阿佐谷の歴史のつながりのお話です。杉並区の命名は江戸時代はじめに田端・成宗両村（現在の成田等）の領主であった旗本の岡部氏が自領境界に杉並木を植栽したことに基づく由来説があります。現在の杉並区役所前から荻窪寄り青梅街道沿いあたりなどが杉並木であった可能性が想定されます。残念ながら明治時代に入りなくなってしまいました。さて、この岡部氏は天桂寺（南阿佐谷駅近く徒歩5分・杉並郵便局裏手）を菩提寺（岡部氏が開基）とし、先祖は渋沢栄一のふるさとである血洗島周辺を拠点とし源平争乱期に源頼朝の家来として一ノ谷の合戦で武功をあげるなど活躍した源氏武将・岡部六弥太忠澄とされます（その後北条氏家来～徳川家康家来）。現在、“道の駅おかべ”（血洗島・旧岡部落陣屋跡・岡部六弥太忠澄墓所の近くにあり）と天桂寺門前にこれら一連の歴史紹介の説明板があります。



（この文は、上記の歴史紹介の説明板の内容に基づき、より詳細な背景や人物の経歴を補足して記述しています。元の画像には説明板の具体的な内容は見えません。）

阿佐ヶ谷地域は、戦前・戦後、文学、美術、音楽、演劇、建築、舞踏、アニメで先駆的な活動をした作家が数多く生活していました。与謝野晶子、太宰治、井伏鱒二、谷川俊太郎、三木清、棟方志功、三善晃、山下洋輔、勅使河原三郎、寺山修司、唐十郎、伊東豊雄、宮崎俊などのジャンルの垣根を越えた文化遺産を若い世代に伝えるため、阿佐ヶ谷アートストリートを開催します。これら異才の中から、2021年は寺山修司をテーマとしました。



- 会期：2021年11月6日(土)～11月20日(土) ● 主催：阿佐ヶ谷アートストリート実行委員会
- 会場：
 - ・産業商工会館
 - ・阿佐谷地域区民センター
- 「各若手作家個展」 11月11日(木)～11月15日(月) 11:00～19:00
 - ・第一レク室…武居芳明展
 - ・第二レク室…外山雄太展
 - ・第五和室…三輪ゆう子展
- ※ 三輪ゆう子の新聞紙のワークショップ 11月6日(木) 10:30～15:00
 - ・参加料3,000円 親子参加

阿佐ヶ谷を舞台にしたドラマのご案内

よるドラ
「阿佐ヶ谷姉妹の のほほんふたり暮らし」(NHK)

【放送予定】2021年11月8日(月)スタート
毎週月曜 [総合] 午後10:45～11:15 <全7回>

- 原作：『阿佐ヶ谷姉妹の のほほんふたり暮らし』 阿佐ヶ谷姉妹 著
- 出演：木村多江、安藤玉恵 / いしのようこ、中川大輔、楠見薫、山脇辰哉 / 宇崎竜童、研ナオコ ほか

※ 最新情報はNHK番組ホームページをチェック!



ロケ撮影風景 阿佐ヶ谷松山通り入り口

報告 7月10日(土) 楽しい野鳥の世界

元野鳥の会理事の西村真一さんによる「楽しい野鳥の世界」講座を応募者から30名の方に参加いただきました。本当に鳥が好きな方が集まり、講師の話や野鳥のスライド写真を真剣にかつ楽しそうに耳をかたむけ、見入っていました。春夏秋冬の善福寺公園の野鳥、東京のど真ん中の日比谷公園の野鳥、珍しいミャンマーの野鳥など本当に美しい野鳥をたくさん知ることができました。



ところで、東京都の鳥「都鳥」は何かご存知ですか? 答えは、「ユリカモメ」でした。通勤で利用していた電車の「ゆりかもめ」が東京の鳥から命名したことを初めて知りました。

報告 8月21日(土) 日本古典文学講座「徒然草」

昨年の「方丈記」に続く「徒然草」は今年も定員40名のところ、85名の応募者があり大盛況でした。学習院大学講師 田中洋子先生の講座は5年目でもあるためか、ファンも多く「昨年の(方丈記)に参加された方?」と聞くと数名の方がいらっしゃいました。中世の時代の古典文学「徒然草」から、コロナ禍の



現代でも心に響く内容が沢山ある講座だったと思いました。帰りに「とても良かった。ありがとう」と何人かの方に言われました。

休館日

- 阿佐谷地域区民センター
- 梅里区民集会所

11月 NOV.

Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

12月 DEC.

Su	Mo	Tu	We	Th	Fr	Sa
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	